

事業計画書

企業名	株式会社●●●		
設備を設置する事業所	所在地	北九州市●●区●●町●-●	
	名称	株式会社●●● ■■サービスセンター	
事業実施期間	事業開始予定日	令和●●年●●月●●日	
	事業完了予定日	令和●●年●●月●●日	
契約電力の種類	該当するものを○で囲むこと 特別高圧 <u>高圧</u> ・低圧（電灯）・低圧（動力） 現在の電力会社名（ ●●電力株式会社 ）		
再エネ100%電力	変更後の電力会社名（ ●●電力株式会社 ） メニュー名（ 再エネE00プラン ）		
設置設備等の概要	① EMS機器	設備の種類	該当するものを○で囲むこと BEMS・HEMS・FEMS・ <u>デマンドコントローラー</u> 【 <u>新設</u> ・既設（ 年 月）】
		設置場所	事務所
		仕様・内容等	設定デマンド値を超えそうになると警報 1時間毎の消費電力値等表示及び記録
	② 電力関連設備	設備の種類	該当するものを○で囲むこと <u>自家消費型太陽光発電設備</u> ・小型風力発電設備 <u>蓄電池</u> 【 <u>新設</u> 増設・既設更新（ 年 月設置）】
		設置場所	太陽光パネルは工場の屋根 パワーコンディショナーと蓄電池は工場東壁面
		仕様・内容等	太陽光発電設備 ▲▲社製 型式YYY-VVV ●. ● kW 蓄電池システム ▲▲社製 型式PPP-XXX ●●. ● kWh 北九州エコプレミアム製品である(はい <u>いいえ</u>)

注) EMSは、エネルギーマネジメントシステムの略です。

設置設備等の概要	◎ エネルギー 関連設備①	設備の種類	高天井用LED照明 【既存設備設置年月 ●●年●●月】
		設置場所	工場
		仕様・内容等	●●製 角型（水銀灯700形相当・広角）×10台 角型（水銀灯700形相当・中角）×10台 合計20台 トップランナー基準達成 北九州エコプレミアム製品である(はい、いいえ)
	◎ エネルギー 関連設備②	設備の種類	高効率空調機 【既存設備設置年月 ●●年●●月】
		設置場所	事務所
		仕様・内容等	●●製 天井埋込形 ×●台 床置き形 ×●台 合計●●台 グリーン購入法適合品 北九州エコプレミアム製品である(はい、いいえ)
	◎ エネルギー 関連設備③	設備の種類	小型木質バイオマスボイラー 【既存設備設置年月 ●●年●●月】
		設置場所	工場
		仕様・内容等	■■製 型式 SSS-WWW ×1台 定格出力 116kW 常用時の効率 85% 伝熱面積 9.07㎡ 燃料 木質チップ 北九州エコプレミアム製品である(はい、いいえ)

見積書を基に税抜の金額を記入ください。

補助対象経費（税抜）	区分	金額	備考
	直接工事費	11,170,000円	諸経費は、調査費・現場管理費・一般管理費・共通仮設費の合計
	諸経費	2,330,000円	
	合計	13,500,000円	
資金計画（税抜）	区分	金額	調達先
	補助金(千円未満切捨)	4,500,000円	北九州市
	自己資金	9,000,000円	—
	借入金	0円	
	合計	13,500,000円	—

借入を予定している場合はその金額と調達先を記入ください。

※⑧電力関連設備、⑨エネルギー関連設備の記入枠は、必要に応じて追加ください。

設備設置効果等

省エネ効果(1) (◎エネルギー 関連設備の設置 にかかる省エネ 効果)	◎エネルギー関連設備の設置にかかる、更新前の設備と今回更新する設備を比較した、年間削減量及び削減率を記載してください。電気以外(ガス・灯油・水道等)の設備を更新する場合は、電気削減量に換算して記載してください。別紙でも可(様式自由)	
	<計算式>	
①更新前の設備にかかる年間電力使用量 水銀灯 700W×20台×8時間/日×年間200日=22,400kWh 空調 メーカー試算により20,000kWh(別紙●) 合計 42,400kWh		
②今回更新する設備にかかる年間電力使用量 高天井用LED 140.5W×20台×8時間/日×年間200日=4,496kWh 空調 メーカー試算により15,000kWh(別紙●) 合計 19,496kWh		
③年間削減量 ①-②=42,400kWh-19,496kWh=22,904kWh		
④削減率 ③÷①×100=22,904kWh÷42,400kWh×100=54.0%		
【省エネルギー効果：電気の場合】		
① 更新前の設備にかかる電力使用量 (年間実績)	42,400 kWh	
② 更新後の設備にかかる電力使用量 (年間見込み)	19,496 kWh	
③ 年間削減量 (①-②)	22,904 kWh	
④ 削減率 (③÷①×100)	54.0%	

<p>省エネ効果(2) (上記省エネ効果(1)に加え、㊸電力関連設備の削減効果を含めた、全体の省エネ効果)</p>	<p>前年度の事業所全体の年間電力使用量を㊵に記載してください。次に㊸電力関連設備を設置する場合は、その電気使用量削減効果(年間)を算出します。そして、前頁省エネ効果(1)と合算した削減量を㊶に記載してください。最後に事業所全体の使用量に対する削減率を計算し㊷に記載してください。別紙でも可(様式自由)</p> <p><計算式></p> <p>㊵事業所全体の令和元年度電力使用量 電力会社請求書より 118,000kWh</p> <p>㊶年間削減量</p> <p>㊸省エネ効果(1)より 22,904kWh</p> <p>㊹太陽光発電及び蓄電池システム メーカー試算より 12,000kWh(別紙▲)</p> <p>合計削減量=22,904+12,000=34,904kWh</p> <p>㊷削減率</p> <p>㊶÷㊵×100=34,904kWh÷118,000kWh×100=29.6%</p> <p>【事業所全体の省エネルギー効果：電気の場合】 ※各電力会社「電気料金等請求書兼領収証」令和2年4月～令和3年3月分の写し)を添付してください。</p> <table border="1" data-bbox="440 1285 1423 1518"> <tr> <td>㊵ 令和2年度の年間電力使用量(実績)</td> <td>118,000kWh</td> </tr> <tr> <td>㊶ ㊸㊹の全てを導入することによる年間削減量(見込み)</td> <td>34,904kWh</td> </tr> <tr> <td>㊷ 削減率(㊶÷㊵×100)</td> <td>29.6%</td> </tr> </table>			㊵ 令和2年度の年間電力使用量(実績)	118,000kWh	㊶ ㊸㊹の全てを導入することによる年間削減量(見込み)	34,904kWh	㊷ 削減率(㊶÷㊵×100)	29.6%
㊵ 令和2年度の年間電力使用量(実績)	118,000kWh								
㊶ ㊸㊹の全てを導入することによる年間削減量(見込み)	34,904kWh								
㊷ 削減率(㊶÷㊵×100)	29.6%								
<p>これまでの省エネの取組</p>	<p>省エネに関するこれまでの取組(電力関連設備・エネルギー関連設備等導入実績、省エネ活動など)を具体的に記載してください。 審査の参考とします。別紙でも可(様式自由)</p> <p>【記入例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●●●年度に会議室の照明をLEDに更新、■●●年度に空調機口台を更新 ○●●年度に太陽光発電○kWを導入 ●●●年度に昼休みの消灯、空調設備のON/OFFは冷房が28℃・暖房が18℃に設定するなど、省エネに取り組んだ。 								
<p>省エネ診断受診の有無</p>	<p>有・無</p>	<p>(要綱第4条関連) 他の補助金受領の有無</p>	<p>無</p>						